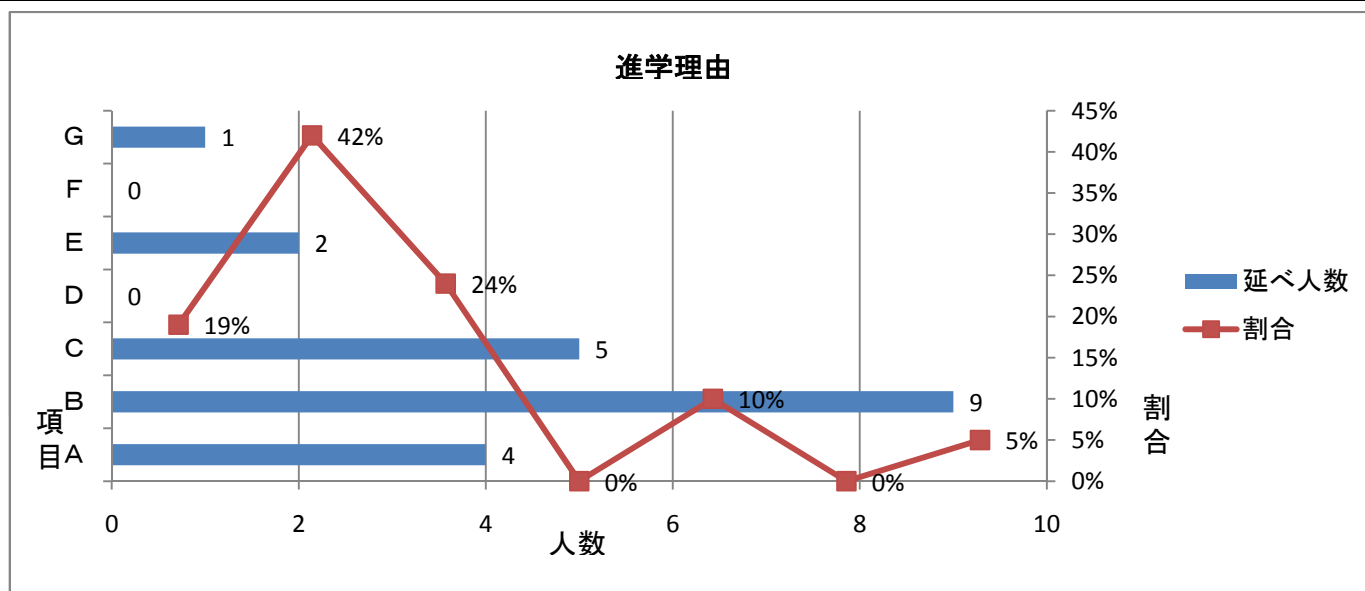


2010年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート集計結果

2. 進学理由について

*複数回答

項目	延べ人数	割合	内容
A	4	19%	現在の仕事に関して、より専門知識を身に付けるため
B	9	42%	興味・関心のある分野の勉強がしたくなったから
C	5	24%	資格取得のため(税理士試験科目免除、臨床心理士国家試験受験資格、教員専修免許等)
D	0	0%	大学院卒業という学歴が欲しいから
E	2	10%	将来に不安を感じたから
F	0	0%	時間に余裕が出来たから
G	1	5%	その他



G: 理由

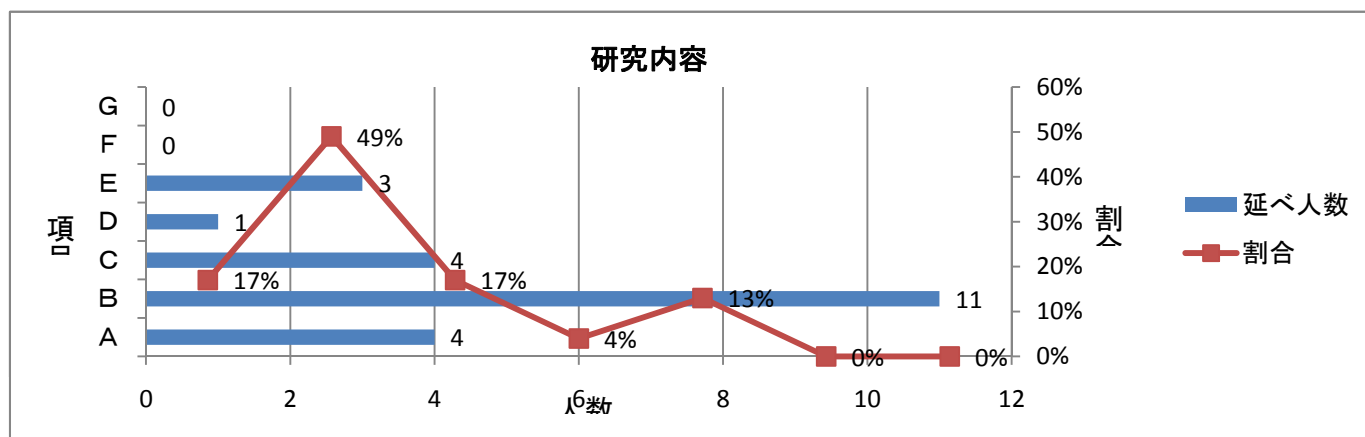
M1	研究のため
----	-------

3. 研究について

*複数回答

① 研究内容

項目	延べ人数	割合	内容
A	4	17%	理論的研究
B	11	49%	調査・インタビュー・実験を用いる研究
C	4	17%	二次資料・史料の収集や整理を伴う研究
D	1	4%	課題の発見に関する研究
E	3	13%	課題の解決を目指す研究
F	0	0%	実践的応用に関する研究
G	0	0%	どれにもあてはまらない



2010年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート集計結果

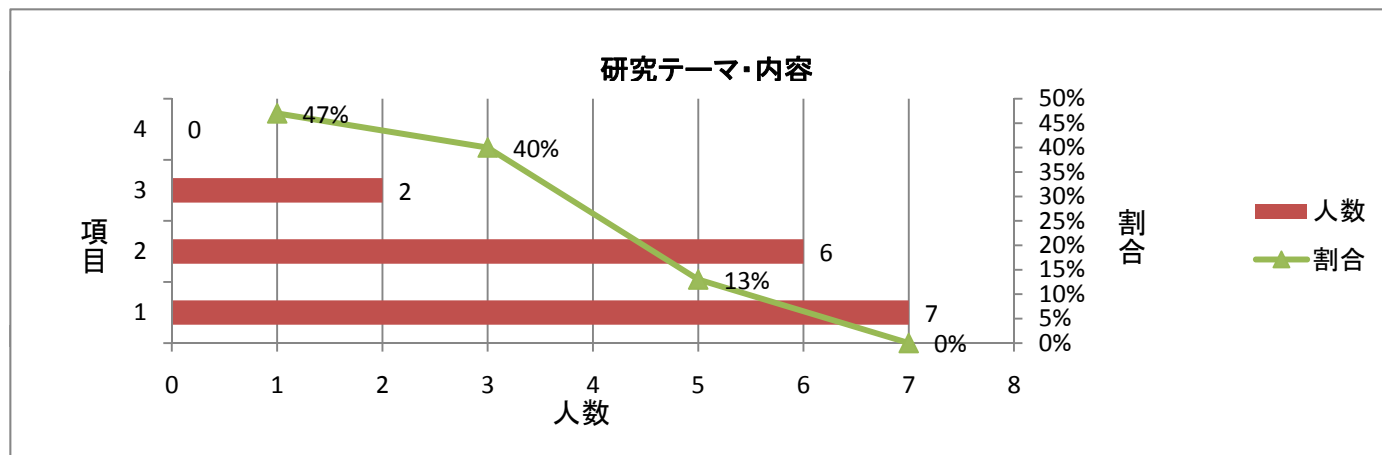
②研究の傾向

I. 研究テーマ・内容

項目	人数	割合	内容
1	7	47%	Aにあてはまる。
2	6	40%	ややAに近い。
3	2	13%	ややBに近い。
4	0	0%	Bにあてはまる。

* A: 研究のテーマ内容が明確である。

* B: 研究のテーマ内容がまだ明確に決まっていない。

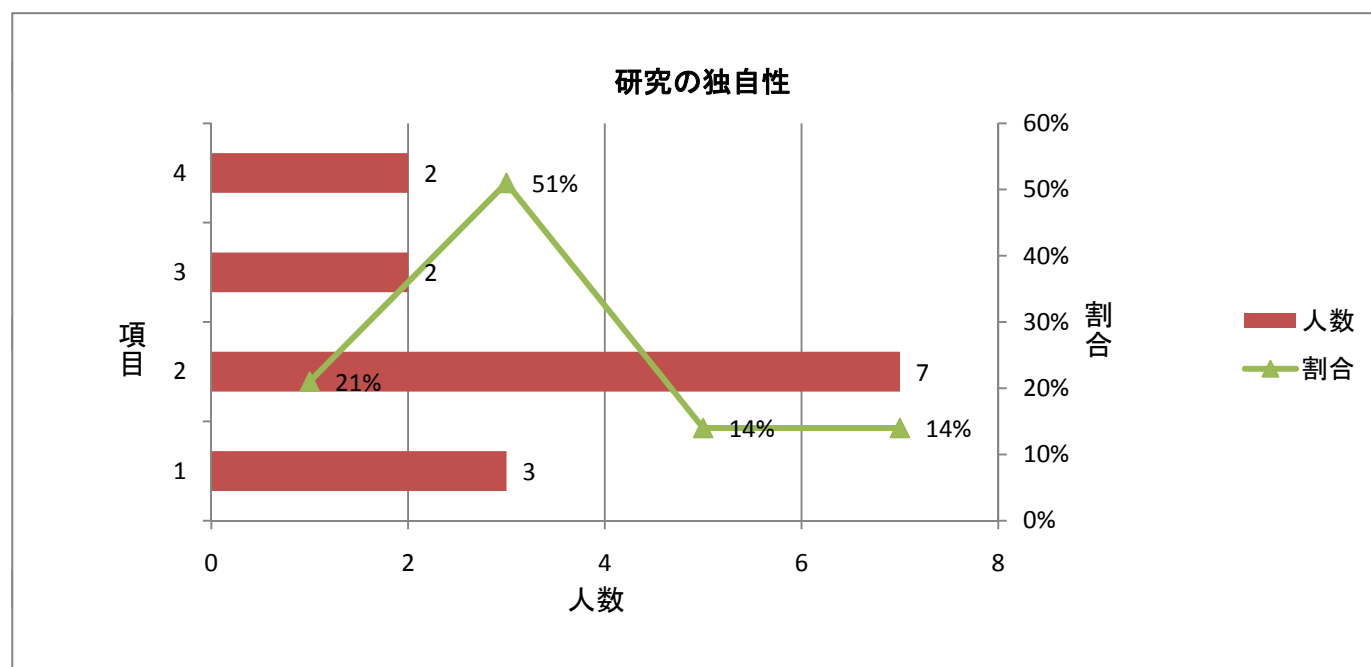


II. 研究の独自性

項目	人数	割合	内容
1	3	21%	Aにあてはまる。
2	7	51%	ややAに近い。
3	2	14%	ややBに近い。
4	2	14%	Bにあてはまる。

* A: 研究の独自性(オリジナリティ)を意識しながら、研究を行っている。

* B: 独自性(オリジナリティ)は意識せずに、研究を行っている。



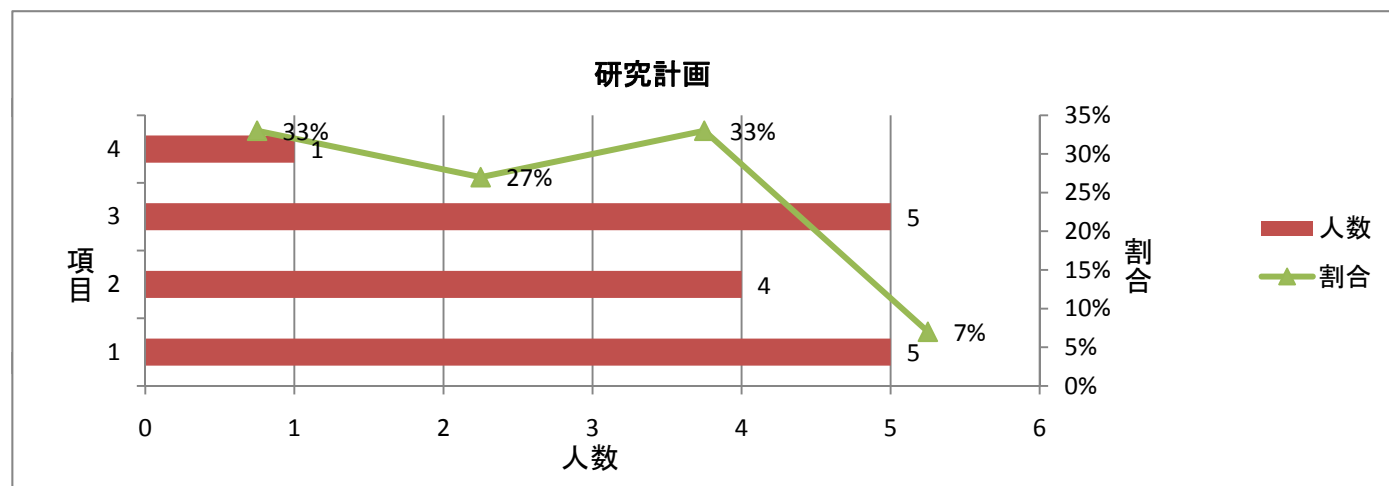
2010年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート集計結果

Ⅲ. 研究計画

項目	人数	割合	内容
1	5	33%	Aにあてはまる。
2	4	27%	ややAに近い。
3	5	33%	ややBに近い。
4	1	7%	Bにあてはまる。

* A: 研究の計画が具体的に定まっている。

* B: 研究の計画は、まだ、具体的に定まっていない。

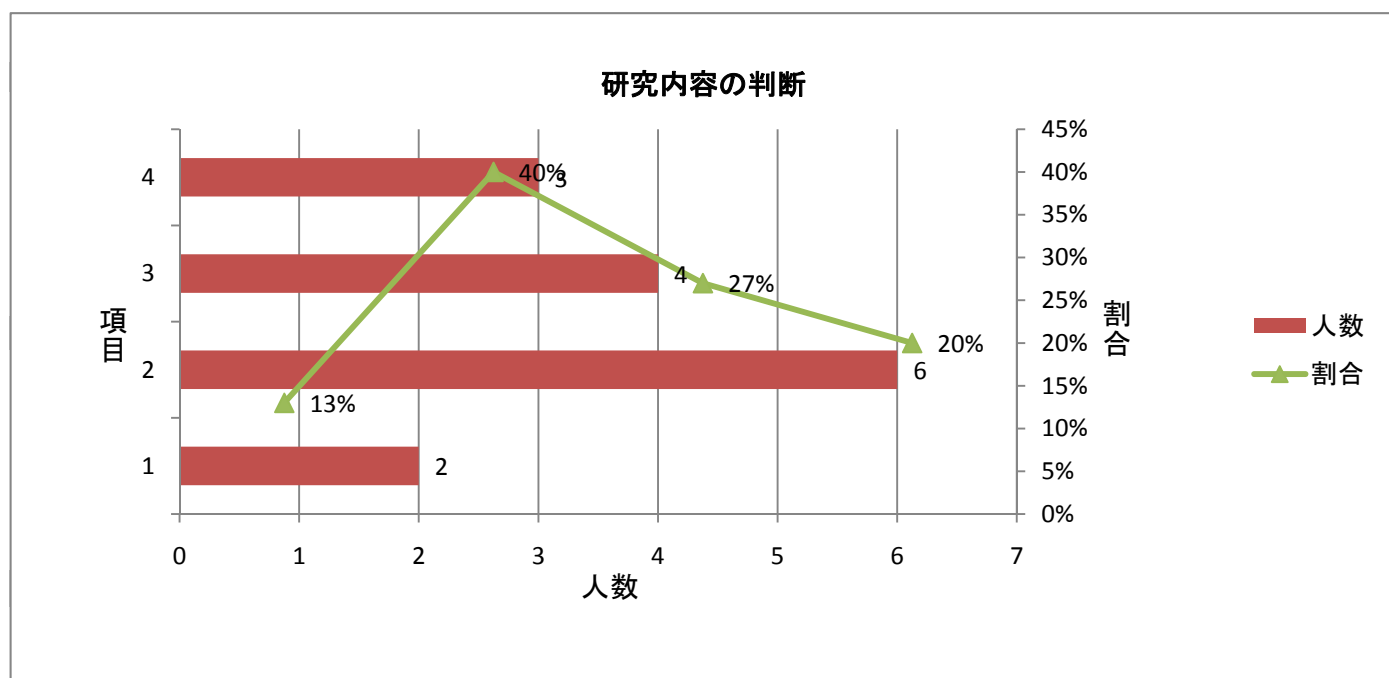


Ⅳ. 研究内容の判断

項目	人数	割合	内容
1	2	13%	Aにあてはまる。
2	6	40%	ややAに近い。
3	4	27%	ややBに近い。
4	3	20%	Bにあてはまる。

* A: 研究を行うときには、自分自身の判断によってすすめている。

* B: 研究を行うときには、教員や先輩の指示に頼っている。



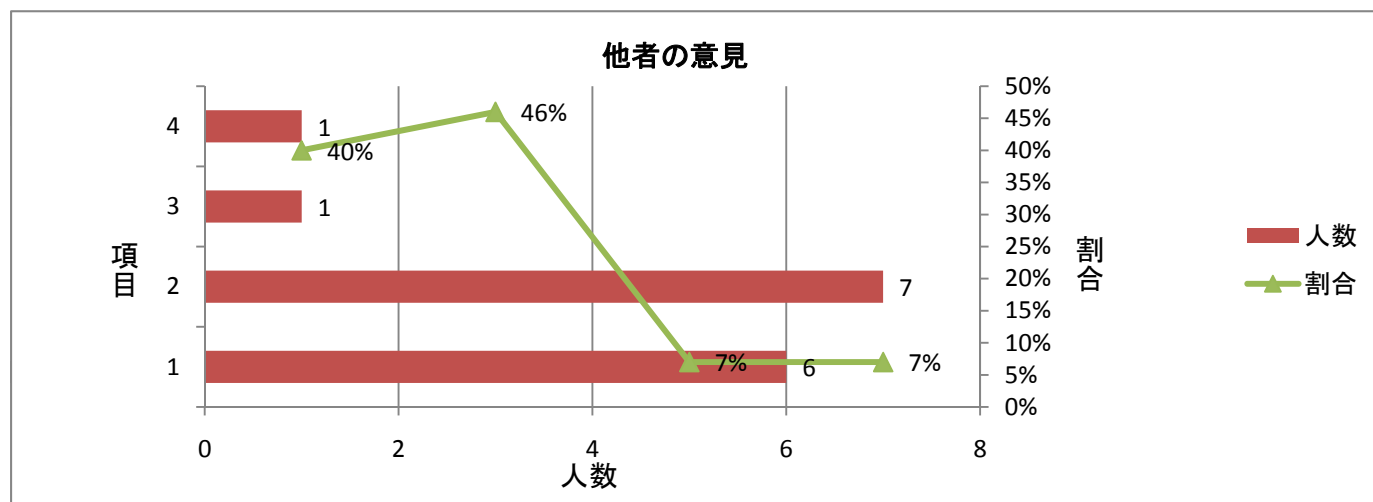
2010年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート集計結果

V. 他者の意見

項目	人数	割合	内容
1	6	40%	Aにあてはまる。
2	7	46%	ややAに近い。
3	1	7%	ややBに近い。
4	1	7%	Bにあてはまる。

* A: 他者(学内の教員、先輩)に意見をもらう機会を自分で作る。

* B: 意見をもらう機会は、他者が設定してくれる。

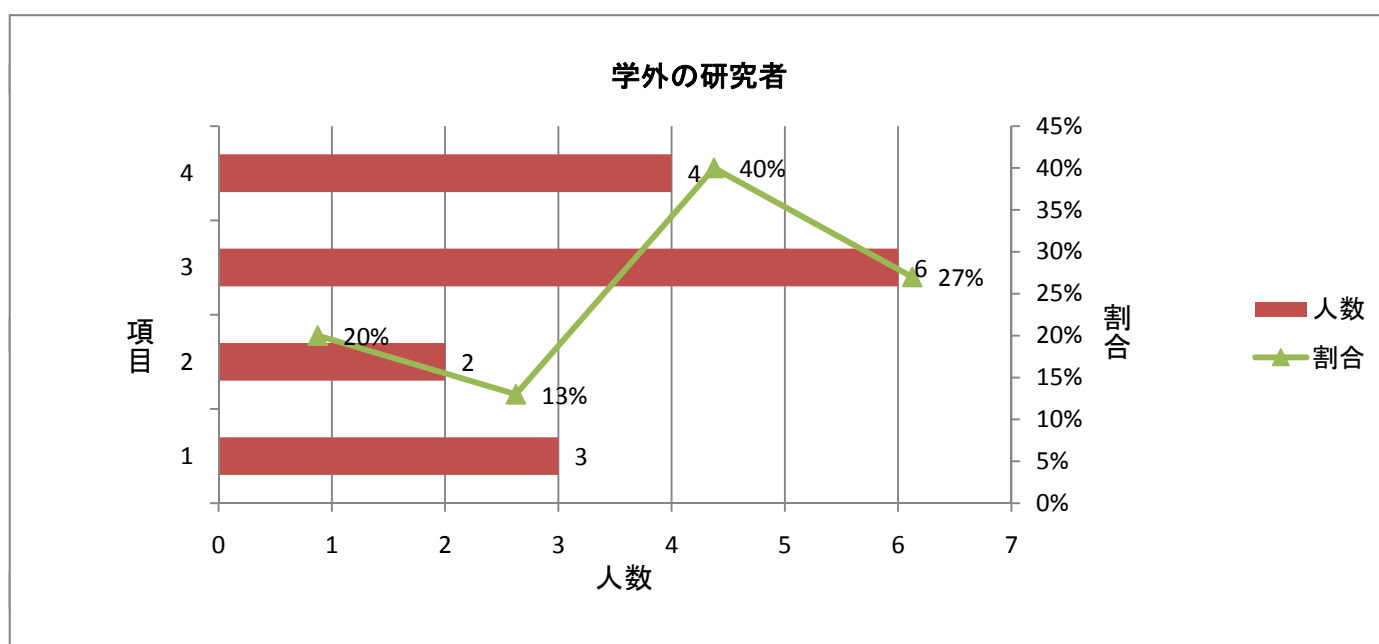


VI. 学外の研究者

項目	人数	割合	内容
1	3	20%	Aにあてはまる。
2	2	13%	ややAに近い。
3	6	40%	ややBに近い。
4	4	27%	Bにあてはまる。

* A: 学外の研究者と積極的に交流している。

* B: 学外の研究者との交流は少ない。



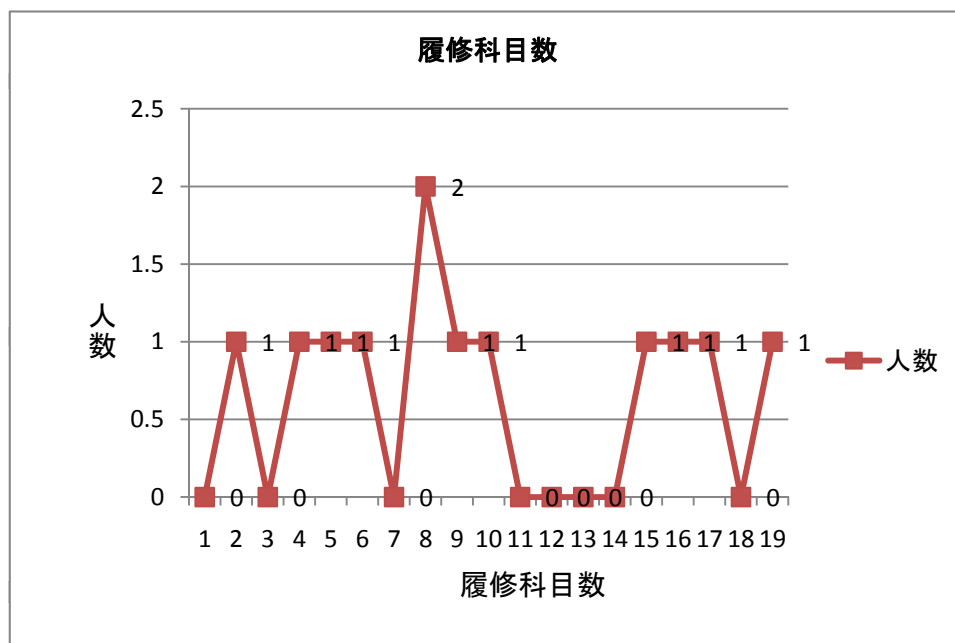
2010年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート集計結果

4.大学院開講科目について

①履修科目数

履修科目数	人数
0	0
1	1
2	0
3	1
4	1
5	1
6	0
7	2
8	1
9	1
10	0
11	0
12	0
13	0
14	1
15	1
16	1
17	0
18	1

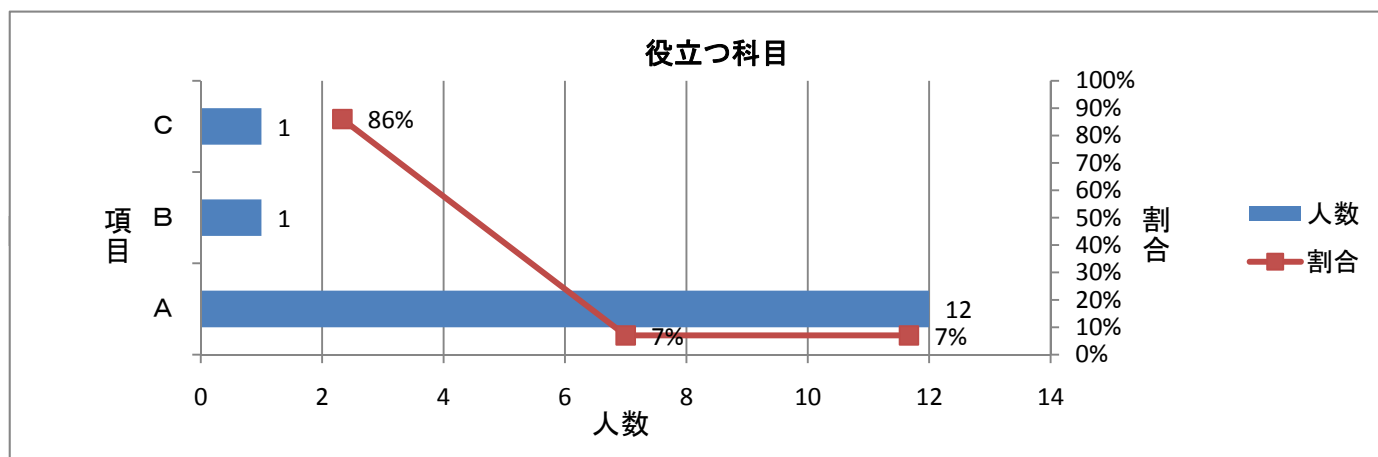
※未回答:2名
覚えていない:1名



②役立つ科目

項目	人数	割合	内容
A	12	86%	ある
B	1	7%	ない
C	1	7%	科目の履修はしていない

※未回答:1名



②-2 科目名

M1	犯罪心理学特論・認知心理学特論・臨床心理学特論Ⅱ
M1	研究法特論
M1	言語文化領域で履修していた科目
M1	社会学特論
M1	国語教育学特論・日本近現代文学特論
M2	南島方言学特論・南島芸能特論
M2	特殊研究、実習
M2	日本近現代文学特論ⅠA、ⅠB
M2	南島民俗宗教論・南島地理特論
M2	日本文学特殊研究

2010年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート集計結果

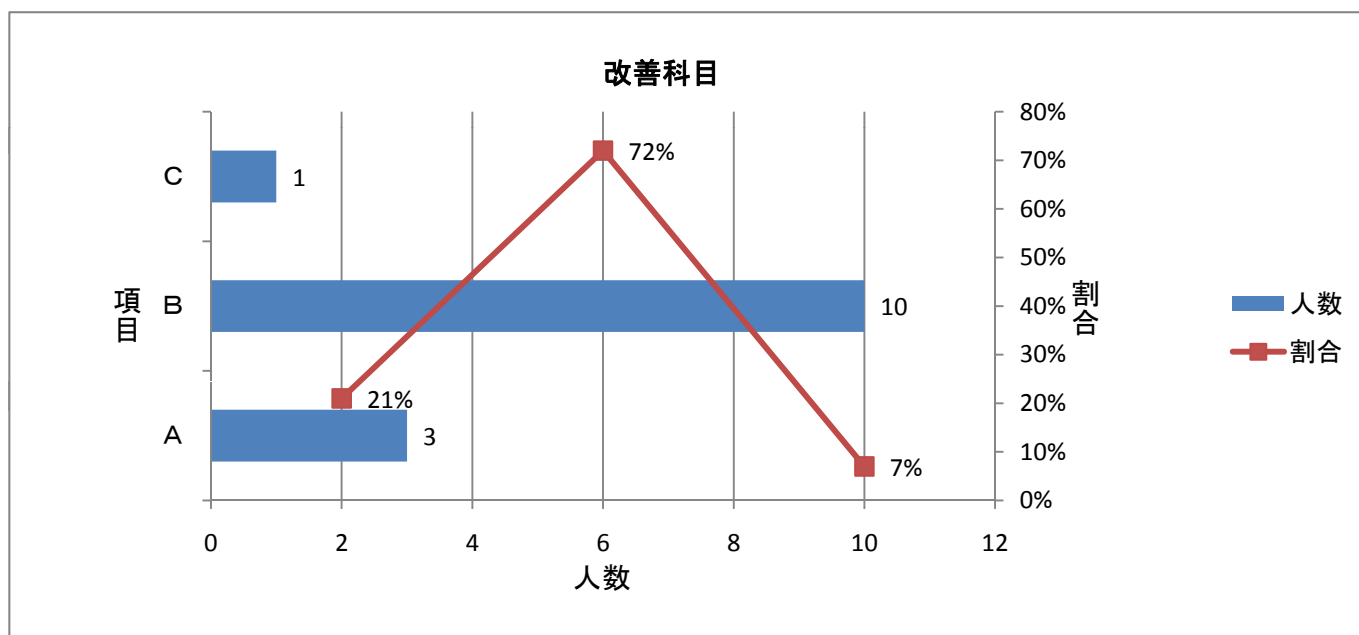
②-3 どのような点が役立つと思ったか

M1	自分が取り組もうと思っている研究テーマが、この分野でどれくらい研究されているか、どういう位置づけにあるか大まかに知ることができた。臨床心理学特論Ⅱは具体的事例を通してだったので、イメージしやすかったし、研究に直接リンクできるところもあって為になった。
M1	研究の方法論について詳細に説明して下さった。
M1	・研究方法について ・修論を書く上での切り口が見つかった
M1	理論的視点や考え方
M1	知識の深化を拡大に
M2	方言の入り口として、とても興味深いのと同時に、学部とは違う視点で考え、古典作品や方言について考察することができたと思うから。
M2	実践的なところ
M2	役に立たせるような視点で受講していたからだと思います。
M2	・情報検索についてプロの方からのアドバイスと実践を初回やったこと。 ・一つのテーマを深く掘り下げ研究する実践の形を実際に示し、行ったこと(体験したこと)。
M2	修論のテーマに合わせて、先生がオススメの論文を読みながらの講義をしてくれたから。修論に必要となりそうな、パソコンの操作方法を教えてくれたから。
M2	ゼミの中で、様々な人の発表を聞くことで、刺激を受け視野が広がる。

③改善科目

項目	人数	割合	内容
A	3	21%	ある
B	10	72%	ない
C	1	7%	科目の履修はしていない

※未回答:1名



③-2 科目名

M1	社会心理学
----	-------

③-3 どのような点を改善した方が良かったと思ったか

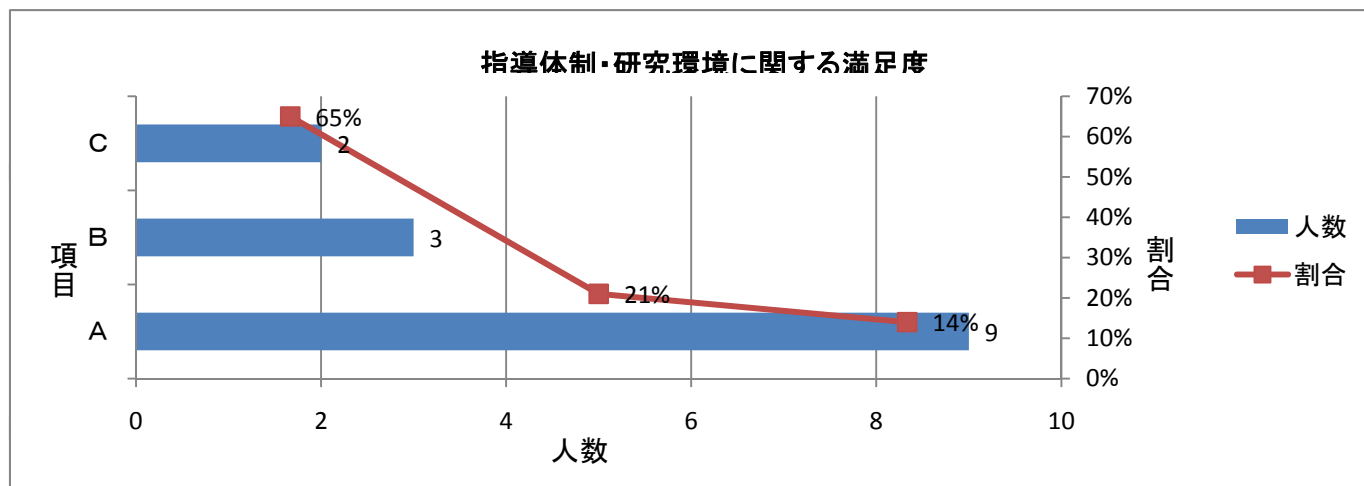
M1	途中で終わってそのままのものもあったので。
M2	シラバスに沿っていなすぎた。必ず沿う必要もないが、ある程度の計画性は必要。

2010年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート集計結果

5.指導体制・環境

①指導体制・研究環境に関する満足度

項目	人数	割合	内容
A	9	65%	満足している
B	3	21%	満足していない
C	2	14%	どちらでもない



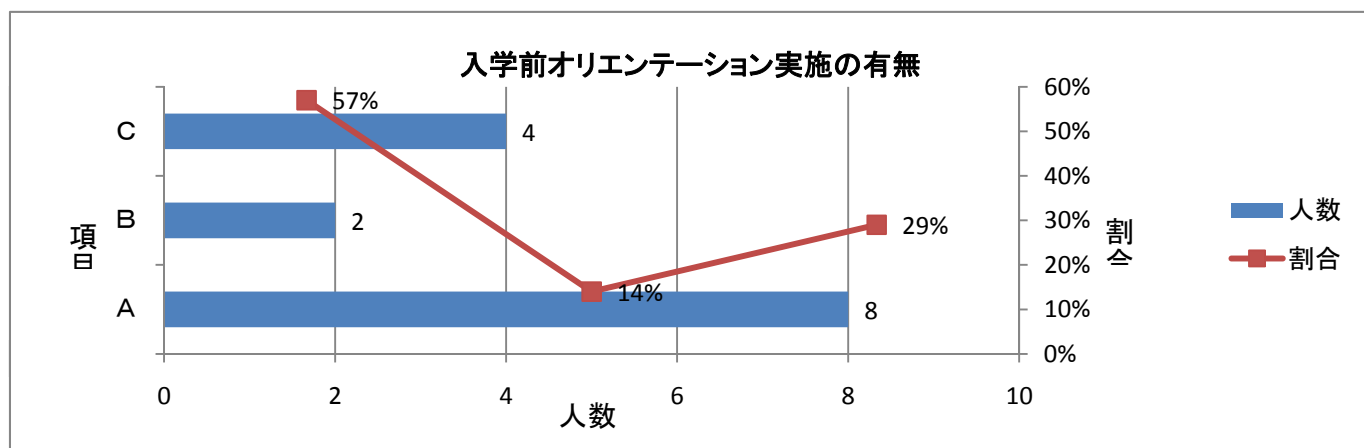
②満足できない理由

*B回答者のみ回答

M2	英語の論文が手に入りにくく、英語の講義もないため困った。研究する余裕がない。統計学も不十分。研究方法も不十分。必然的に研究の質は落ちる。
M2	とても熱心な指導を受けていることには満足していますが、研究に時間をかけられないカリキュラムなので、もっと余裕が欲しかった。
M2	パソコンや共同研究室の環境には満足しているが、事務の相談窓口、体制が全く満足できない。係の人の問題でなく、体制、システムの問題。以前の窓口のように、人対人の丁寧な対応ができる体制に戻して頂けないでしょうか。大学院の担当を固定(?)なのか、以前の体制のように安心して研究できる体制に戻して頂きたい。
M2	研究室パソコンがよくエラーを起こしたりして、データが消えてしまう。実習室が狭い。

③入学前オリエンテーション実施の有無

項目	人数	割合	内容
A	8	57%	あった方がよい
B	2	14%	無くてもよい
C	4	29%	どちらでもよい



2010年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート集計結果

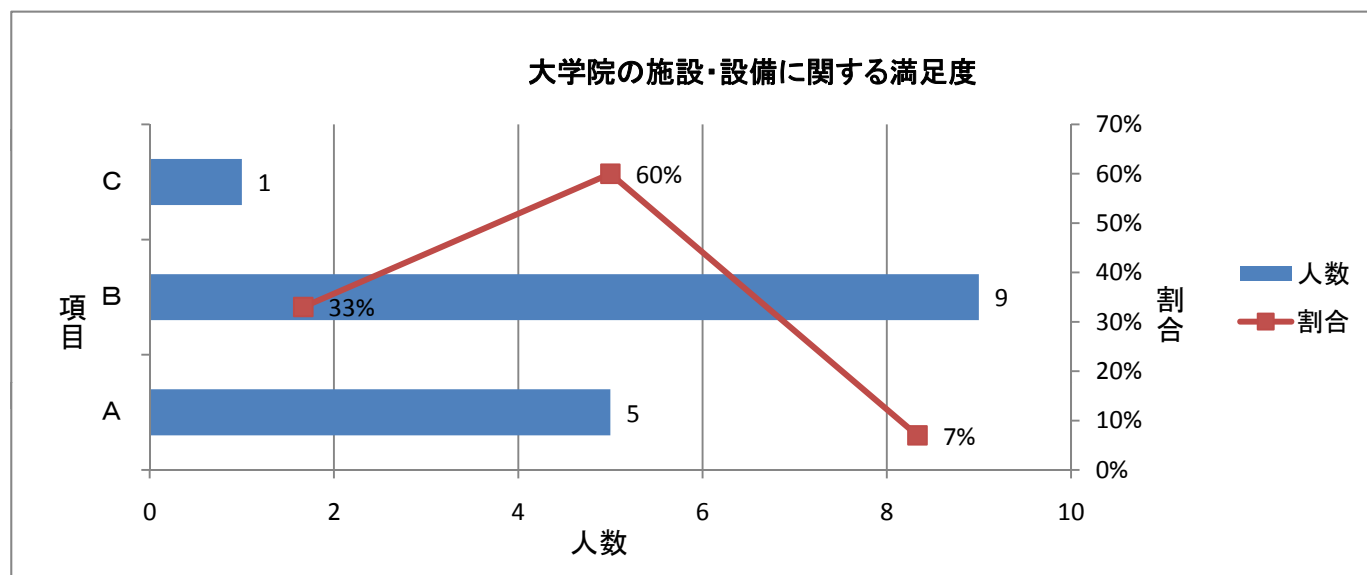
④指導体制、方法、研究環境に関する意見・要望

M1	先生は2年間、一緒の方が良いです。
M2	とても良くしていただいているので、特に不満はありません。
M2	先生がフォローできる所とできない所は明確に言っていたほうが良いかもしれません。フォローできない所は、自分なりに勉強すると思うので。研究科が勝手に作った決まりが多すぎて困るので、明文化してしっかり知らせた方がよい。あるいは無くした方がよい。
M2	環境は研究しやすいと思う。ありがとうございます。事務手続きが窓口で安心して相談できれば、本当に嬉しいです。

6.施設・設備

①大学院の施設・設備に関する満足度

項目	人数	割合	内容
A	5	33%	満足している
B	9	60%	満足していない
C	1	7%	どちらでもない



②満足できない理由

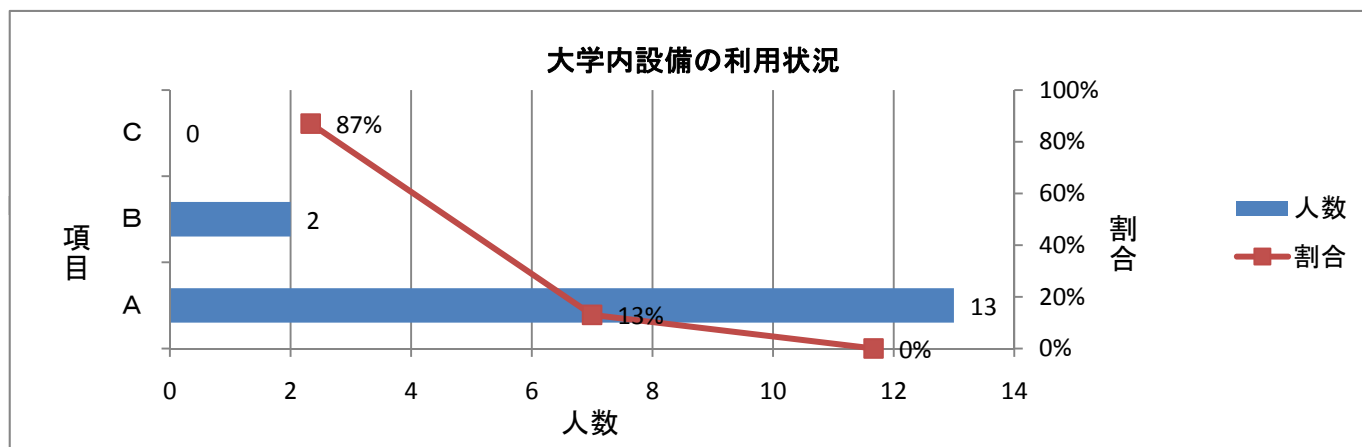
* B回答者のみ回答

M1	奨学金が学生課の担当になり、昼間の仕事を終え、授業が終わると閉まっている。利用しづらい。
M1	臨床心理領域は実際にクライアントについて皆で検討し合うこともあるし、グループワークも結構あるので、心理領域だけの院生自習室が欲しい。グループワークする時など、他領域の人に迷惑かけているんじゃないかと心配になる。
M1	図書館の資料が少なく、欲しい文献が手に入りにくい。個室がなく、勉強にくい。
M1	日曜日でもパソコン室をあけて欲しい。
M2	夜23時までしか学校があいていない。学校でしかできないこともあるので、大変困る。
M2	利用時間を延長してほしい。(23時以降も開けてほしい)
M2	何度も言っていますが、24時間開いていないのがおかしい。朝昼は実習、夜は講義、いつ研究すればいいのかわからない。ロッカーも小さすぎてほとんど意味がない。
M2	パソコンはいつでも使える、印刷もいつでもできることには満足しています。しかし、23時に大学院の施設から出ないと行けないのは、とても不便でした。他の大学院(県内・県外も含む)は、24時間研究ができるように整っているので、本大学院もそうなってほしいです。学校のパソコンにしか入っていないソフトを使うため、家だけでやるのは難しい。
M2	研究室パソコンがよくエラーを起こしたりして、データが消えてしまう。実習室が狭い。

2010年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート集計結果

③大学内設備の利用状況

項目	人数	割合	内容
A	13	87%	よく利用している
B	2	13%	たまに利用している
C	0	0%	全く利用していない



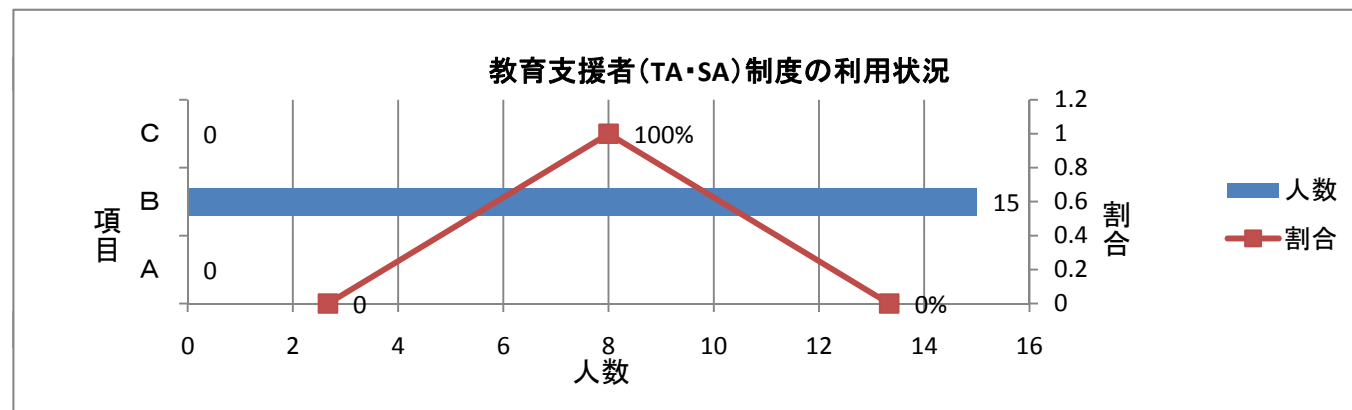
④大学院の施設・設備に関する意見・要望

M1	学部で利用している部屋や物置きにしている部屋を利用して、個人のスペース、机とかがあった方がよい。図書館の個室も良いが、手続きが面倒だし、超寒い。
M1	クーラー、暖房が入らないことがよくあり、困る。
M1	6階のパソコン、office2007(VISTA)にしてくれたら有り難いです。
M1	日曜・祝日もパソコン室を利用したい。
M2	資料室の資料をもう少し増やして欲しいです。特に言語とか文学とかがあれば嬉しいです。
M2	研究文献が少ないため、複写に時間がかかってしまう。
M2	24時間開けてほしいです。
M2	空調が壊れているせいか、とても寒いときがありました。修理をお願いしたいです。
M2	フロアを学部生と分けて頂き、感謝してます。しかし、5階での講義はどうしてもうるさい時がありますが、これは仕方がないと思っていますが、6階は静けさが確保されており、嬉しいです。図書館も静けさはあたり前で嬉しいです。

7.教育支援者(TA・SA)制度

①教育支援者(TA・SA)制度の活用状況

項目	人数	割合	内容
A	0	0%	している
B	15	100%	していない
C	0	0%	過去に活用していた

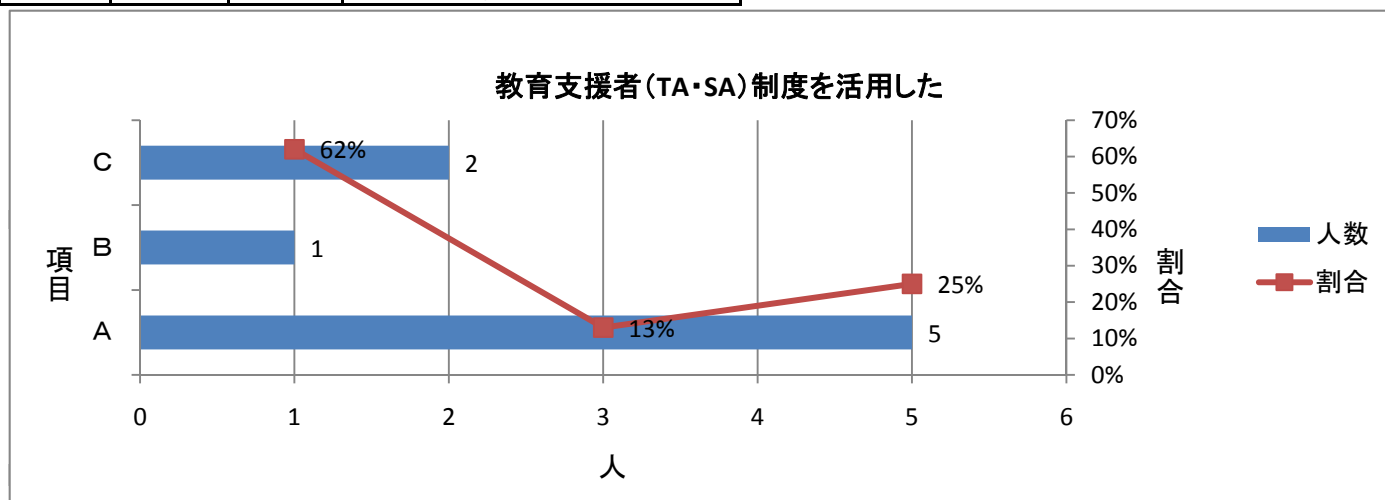


2010年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート集計結果

②教育支援者(TA・SA)制度を活用したいか

※現M1のみの回答だが、M2,2名も回答

項目	人数	割合	内容
A	5	62%	活用したい
B	1	13%	活用したくない
C	2	25%	どちらでもない



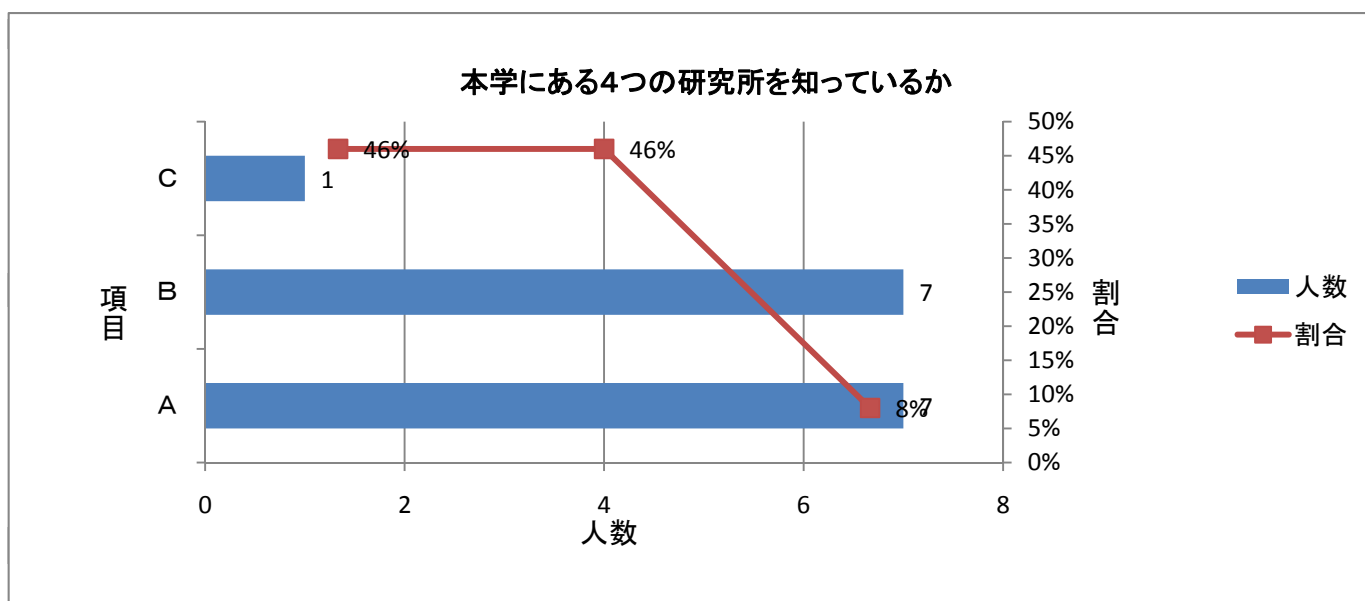
③②の理由

M1	教員からの誘いがあったから。(A)
M1	先輩の経験や意見も聞きたいから。(A)
M1	その制度についてあまりよく知らない。(C)
M2	大学院に行きながら、という今の状況に合っていると思うから(A)

8.本学に付置している研究所について

①本学にある4つの研究所を知っているか

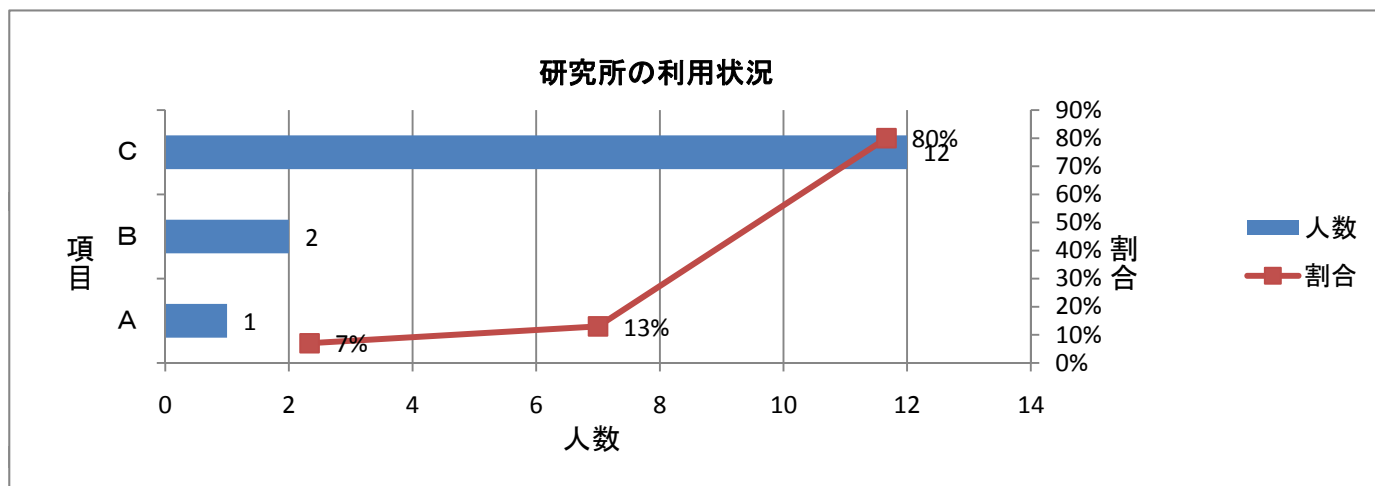
項目	人数	割合	内容
A	7	46%	知っている
B	7	46%	知らない
C	1	8%	興味がない



2010年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート集計結果

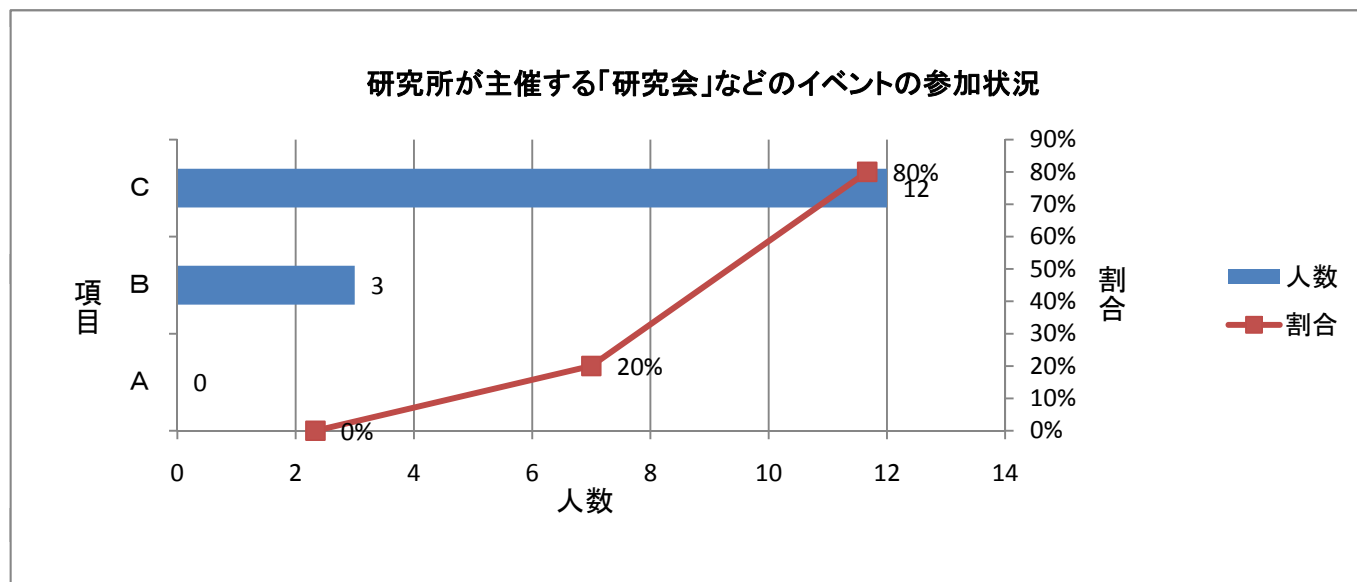
②研究所の利用状況

項目	人数	割合	内容
A	1	7%	よく利用している
B	2	13%	たまに利用している
C	12	80%	全く利用していない



③研究所が主催する「研究会」などのイベントの参加状況

項目	人数	割合	内容
A	0	0%	よく参加している
B	3	20%	たまに参加している
C	12	80%	全く参加していない



2010年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート集計結果

9.その他の意見・要望

M1	<ul style="list-style-type: none"> ・科目の種類を増やして欲しい。特に神経心理学、精神医学とかは心理の分野では核となると思うし、福祉の人たちも精神医学に興味あるのでは？ ・他領域の人たちと接する機会が全くない。 皆が知り合えるようなイベントが年に1回でもあれば交流できるのでは。 ・いつも心理は閉館時間ギリギリまで自習室に残っていて、警備員の方には本当にご迷惑かけています。 ・ロッカーは一人一つでは絶対足りない。一人二箇所ずつ貸し出して欲しい。
M2	<p>先生たちは、とても良くご指導下さり、研究にとっても集中して取り組むことが出来たと思っています。沖国の修士過程を受験して良かったです。ありがとうございました。</p> <p>学部からそのまま入ったので、延長上みたいになるかなと少し不安な点多々ありました。でもやはり、周りの環境が「院」としていたので、研究に打ち込むことができたと思います。</p> <p>奨学金のことなどもサポートして頂けて、お金の面でもとても過ごしやすかったです。</p>
M2	<ul style="list-style-type: none"> ・大学を24時間使えるようにしてほしい。 ・駐車場が狭い。というか、第1、第2以外が遠すぎる。 ・研究室を専攻ごとにわけるか、プレハブ(運動場前)の使用貸し出し等をしたらいいと思う。 ・6階に学部生が勝手に出入りして、教室を使ったり、パソコンを使っている。 ・ロッカーが小さい。余っている所も使えるようにしてほしい。 ・6階のエレベーター横の窓にシートを貼った(マジックミラーみたいになったシート)意味がわからない。なんで？夜の夜景がキレイだったのに。
M2	<p>臨床心理学領域のカリキュラムは明らかに無理があると思います。カリキュラム以外の事が多過ぎる気もします。(大事ですが)皆、明らかに体調を崩しています。隠しながら頑張っている人もいます。後々大きな問題にならないか心配です。</p>
M2	<p>大学院の事務の体制を以前に戻せませんか？</p>